

資料No.「業務1－30」

自治体業務アプリケーションユニット標準仕様  
【ワンストップサービス分析ドキュメント記載ルール】

V3.5



一般財団法人全国地域情報化推進協会

## 目 次

本書の位置づけ .....	1
1. ワンストップサービス分析ドキュメント .....	2
1. 1 業務処理整理表 .....	3
1. 2 ワンストップDFD .....	5
1. 3 機能関連ブロック図 .....	7
1. 4 ワンストップインタフェース仕様 .....	9
1. 5 機能連携システムフロー .....	11
1. 6 BPMN図 .....	13
1. 7 条件分岐定義 .....	15
1. 8 インタフェース一覧 .....	17
1. 9 メッセージ定義 .....	19
1. 10 XMLスキーマ .....	21
1. 11 WSDL定義 .....	22
1. 12 WS-BPELアブストラクト .....	23
2. 附則 .....	24
2. 1 データ型の簡易表記 .....	24

## 本書の位置づけ

---

本書「自治体業務アプリケーションユニット標準仕様【業務1－30】ワンストップサービス分析ドキュメント記載ルール」は、ガイドライン「第4章(別冊)ワンストップサービスの連携定義手順」に掲載されている各種分析ドキュメントに関する記載ルールを説明したものである。

今後、各自治体にてワンストップサービスの導入・構築を検討される際には、本書の記載ルールを参考として頂き、それを事例としてAPPLICへフィードバックして頂ければ、今後のワンストップサービスのインタフェースの標準化や普及へつながるものとする。また、将来的には、自治体間から官民間のサービス連携へと広がることを踏まえ、予め、本書の記載ルールにて作成しておいて頂くことで、双方(相手方)との連携を検討・分析する際にも有効となり得る。

### 掲載資料一覧

<ワンストップサービス分析ドキュメント>

- (1) 業務処理整理表
- (2) ワンストップDFD
- (3) 機能関連ブロック図
- (4) ワンストップインタフェース仕様
- (5) 機能連携システムフロー
- (6) BPMN図
- (7) 条件分岐定義
- (8) インタフェース一覧
- (9) メッセージ定義
- (10) XMLスキーマ
- (11) WSDL定義
- (12) WS－BPELアブストラクト

## 1. ワンストップサービス分析ドキュメント

ガイドライン「第4章(別冊)ワンストップサービスの連携定義手順」で用いるドキュメントを以下に示す。

No.	ドキュメント名	内容
1	業務処理整理表	ワンストップサービスの対象手続きに関する業務機能の各種内容を示す。
2	ワンストップDFD	各業務機能間の情報の流れを示す。
3	機能関連ブロック図	ワンストップサービスの業務フローを示す。
4	ワンストップインタフェース仕様	各業務機能間で連携するデータ項目と入出力を示す。
5	機能連携システムフロー	PM も含めた各機能及びシステム間の情報及び処理の連携を示す。
6	BPMN図	ビジネスプロセスを示す。
7	条件分岐定義	ビジネスプロセスにある条件分岐の内容を示す。
8	インタフェース一覧	Webサービスインタフェースを一覧で示す。
9	メッセージ定義	インタフェースのメッセージの項目定義を示す。
10	WSDL定義	インタフェースの各メッセージとして使用されるXMLメッセージに対するXMLスキーマ定義。
11	XMLスキーマ定義	インタフェースに対するWSDL定義。
12	WS-BPEL定義	配布用のBPEL文書(WS-BPELアブストラクト)。

### (1) 概要

・記載イメージ

[illegible]

図 1.1 業務処理整理表

## ・記載内容

No.	項目名	内容
1	機能 No	業務機能を一意に指示す番号
2	実施機関	該当の業務を行う主体
3	業務ユニット	該当の業務を行う業務ユニット(システム)の名称
4	業務機能名	業務機能の名称
5	前提条件	該当の業務を行うにあたっての条件等
6	申請書	該当の業務に関係する申請書
7	必要提出物－提出物名	該当の業務に関係する申請書の他に必要な提出物
8	必要提出物－入手元	必要提出物の入手元
9	必要提出物－備考	必要提出物に関する特記事項等
10	交付物－交付物名	該当の業務に関係する交付物
11	交付物－交付先	交付物の交付先
12	交付物－備考	交付物に関する特記事項等
13	備考	該当の機能全般に関する特記事項等

## (2) ルール

## ・全般

No.	内容
1	機能 No・業務ユニット・業務機能名は、標準仕様で定義された業務機能に関しては、業務標準で定義された内容を用いる。標準仕様で定義されていない業務機能に関しては、ワンストップサービス分析として独自に定義する。

## (3) 留意事項

- ・業務処理整理表では、ワンストップサービスの対象手続きに関する業務機能に関して、法令や条例等をもとに、各業務機能に必要な申請書、必要提出物、交付物に関して調査し、結果を整理する。
- ・業務処理整理表では、ワンストップサービスの対象業務機能(例えば、申請・届出を処理する業務機能等)を中心に、関連する業務機能(例えば、申請・届出の結果発生する処理等)について整理する。但し、関連する業務機能に関しては、その全てを記載する必要はない。

## 1. 2 ワンストップDFD

## (1) 概要

ワンストップDFDは、各業務機能間の情報の流れを示す。

## ・記載イメージ

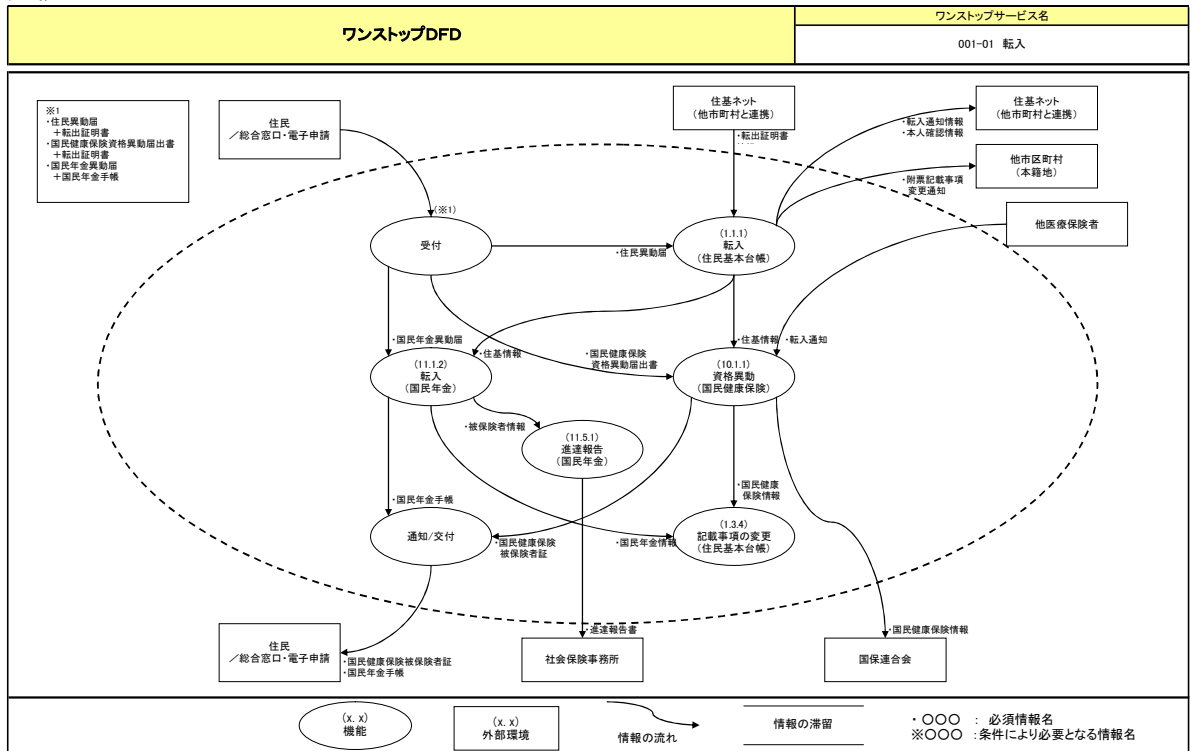
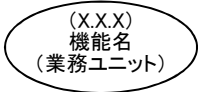
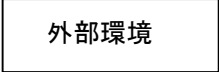

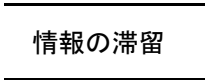


図 1.2 ワンストップDFD

## ・記載内容

表記	説明
	各機能を示す。
	他の組織や住民等の外部環境を示す。
	情報の流れを示す。
	情報の滞留を示す。
・情報名	必ず流れる情報名を示す。
※情報名	条件により流れる情報名を示す。

## (2) ルール

## ・全般

No.	内容
1	情報名は、標準仕様で定義された情報に関しては、業務標準で定義された内容を用いる。標準仕様で定義されていない情報に関しては、ワンストップサービス分析として独自に定義する。

## (3) 留意事項

- ・ワンストップDFDでは、ワンストップサービスに関する情報の流れ(利用者を情報の発生源として、業務機能や外部機関等へ流れる情報の流れ)を中心に、関連する情報の流れについて整理する。



## 1. 3 機能関連ブロック図

## (1) 概要

機能関連ブロック図は、ワンストップサービスの業務フローを示す。

## ・記載イメージ

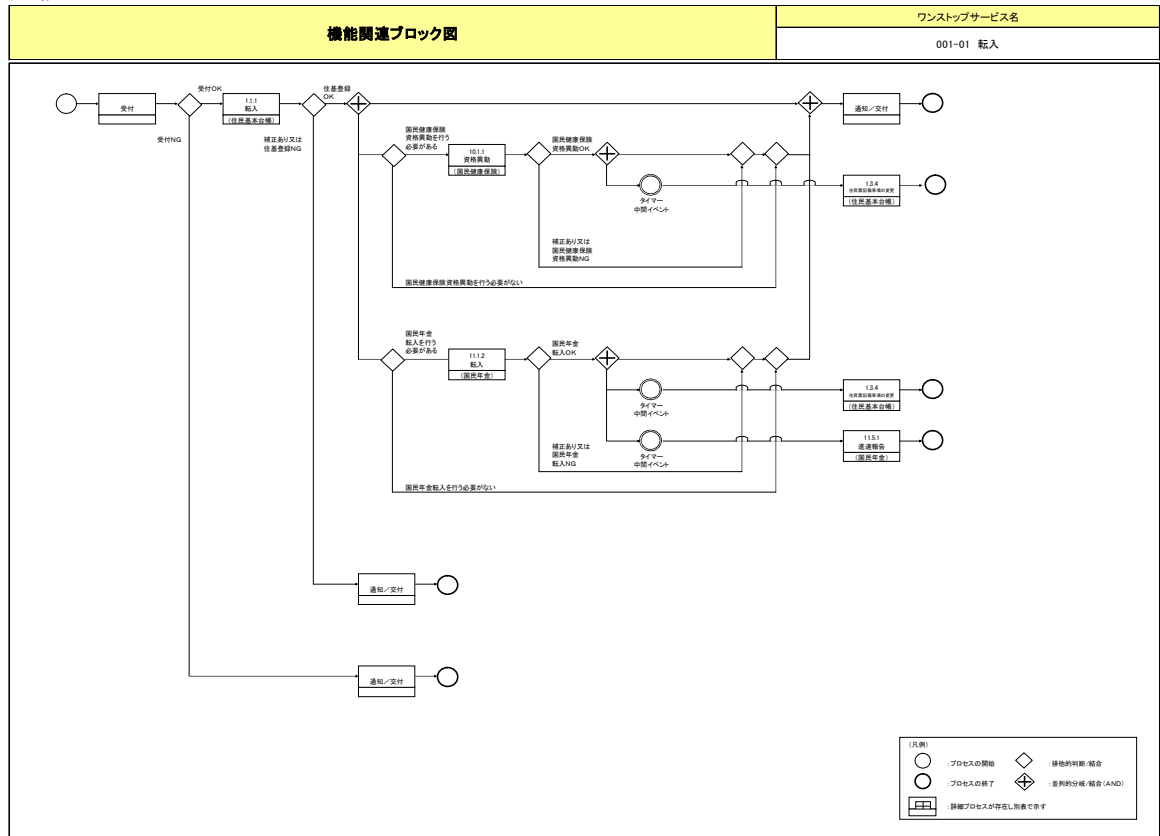


図 1.3 機能関連ブロック図

## ・記載内容

No.	表記	説明
1		各機能を示す。
2		機能の集合を示す。 ※集合の内容に関しては、別紙に記載する。
3		ワンストップサービスの始点を示す。
4		ワンストップサービスの終点を示す。
5		処理が分岐する場合に、排他的判断／結合(OR)を示す。
6		処理が分岐する場合に、並列的分岐／結合(AND)を示す。
7		機能間の流れを示す。 併記される文言は、排他的判断／結合の場合の条件を示す。

## (2) ルール

## ・全般

No.	内容
1	複雑な業務フローは、別紙に当該内容を記載し、全体図では「機能の集合」で簡略化して示す。
2	分岐には、分岐条件を併せて記載する。
3	業務機能の実施機関(業務を行う主体)を示す場合には、スイムレーン(区画)を用いて示す。

## (3) 留意事項

- ・機能関連ブロック図では、ワンストップサービスの対象業務機能に関する業務フローを中心に、関連する業務フローについて整理する。
- ・機能関連ブロック図では、業務機能の実行順序(逐次実行、並列実行、他業務の終了待ち、その他イベント待ち等)について検討する。

## 1. 4 ワンストップインタフェース仕様

## (1)概要

ワンストップインタフェースは、各業務機能間で連携するデータ項目と入出力を示す。

## ・記載イメージ

ワンストップ インタフェース仕様										ワンストップサービス名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
										001-01 転入																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
NO	情報名	コード		データ型	桁数	備考	関連する内部業務機能														外部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		ID	コード名				1.1.1 入力 項目 名	1.1.2 入力 項目 名	1.1.3 入力 項目 名	1.1.4 入力 項目 名	1.1.5 入力 項目 名	1.1.6 入力 項目 名	1.1.7 入力 項目 名	1.1.8 入力 項目 名	1.1.9 入力 項目 名	1.1.10 入力 項目 名	1.1.11 入力 項目 名	1.1.12 入力 項目 名	1.1.13 入力 項目 名	1.1.14 入力 項目 名	1.1.15 入力 項目 名	1.1.16 入力 項目 名	1.1.17 入力 項目 名	1.1.18 入力 項目 名	1.1.19 入力 項目 名	1.1.20 入力 項目 名	1.1.21 入力 項目 名	1.1.22 入力 項目 名	1.1.23 入力 項目 名	1.1.24 入力 項目 名	1.1.25 入力 項目 名	1.1.26 入力 項目 名	1.1.27 入力 項目 名	1.1.28 入力 項目 名	1.1.29 入力 項目 名	1.1.30 入力 項目 名	1.1.31 入力 項目 名	1.1.32 入力 項目 名	1.1.33 入力 項目 名	1.1.34 入力 項目 名	1.1.35 入力 項目 名	1.1.36 入力 項目 名	1.1.37 入力 項目 名	1.1.38 入力 項目 名	1.1.39 入力 項目 名	1.1.40 入力 項目 名	1.1.41 入力 項目 名	1.1.42 入力 項目 名	1.1.43 入力 項目 名	1.1.44 入力 項目 名	1.1.45 入力 項目 名	1.1.46 入力 項目 名	1.1.47 入力 項目 名	1.1.48 入力 項目 名	1.1.49 入力 項目 名	1.1.50 入力 項目 名	1.1.51 入力 項目 名	1.1.52 入力 項目 名	1.1.53 入力 項目 名	1.1.54 入力 項目 名	1.1.55 入力 項目 名	1.1.56 入力 項目 名	1.1.57 入力 項目 名	1.1.58 入力 項目 名	1.1.59 入力 項目 名	1.1.60 入力 項目 名	1.1.61 入力 項目 名	1.1.62 入力 項目 名	1.1.63 入力 項目 名	1.1.64 入力 項目 名	1.1.65 入力 項目 名	1.1.66 入力 項目 名	1.1.67 入力 項目 名	1.1.68 入力 項目 名	1.1.69 入力 項目 名	1.1.70 入力 項目 名	1.1.71 入力 項目 名	1.1.72 入力 項目 名	1.1.73 入力 項目 名	1.1.74 入力 項目 名	1.1.75 入力 項目 名	1.1.76 入力 項目 名	1.1.77 入力 項目 名	1.1.78 入力 項目 名	1.1.79 入力 項目 名	1.1.80 入力 項目 名	1.1.81 入力 項目 名	1.1.82 入力 項目 名	1.1.83 入力 項目 名	1.1.84 入力 項目 名	1.1.85 入力 項目 名	1.1.86 入力 項目 名	1.1.87 入力 項目 名	1.1.88 入力 項目 名	1.1.89 入力 項目 名	1.1.90 入力 項目 名	1.1.91 入力 項目 名	1.1.92 入力 項目 名	1.1.93 入力 項目 名	1.1.94 入力 項目 名	1.1.95 入力 項目 名	1.1.96 入力 項目 名	1.1.97 入力 項目 名	1.1.98 入力 項目 名	1.1.99 入力 項目 名	1.1.100 入力 項目 名	1.1.101 入力 項目 名	1.1.102 入力 項目 名	1.1.103 入力 項目 名	1.1.104 入力 項目 名	1.1.105 入力 項目 名	1.1.106 入力 項目 名	1.1.107 入力 項目 名	1.1.108 入力 項目 名	1.1.109 入力 項目 名	1.1.110 入力 項目 名	1.1.111 入力 項目 名	1.1.112 入力 項目 名	1.1.113 入力 項目 名	1.1.114 入力 項目 名	1.1.115 入力 項目 名	1.1.116 入力 項目 名	1.1.117 入力 項目 名	1.1.118 入力 項目 名	1.1.119 入力 項目 名	1.1.120 入力 項目 名	1.1.121 入力 項目 名	1.1.122 入力 項目 名	1.1.123 入力 項目 名	1.1.124 入力 項目 名	1.1.125 入力 項目 名	1.1.126 入力 項目 名	1.1.127 入力 項目 名	1.1.128 入力 項目 名	1.1.129 入力 項目 名	1.1.130 入力 項目 名	1.1.131 入力 項目 名	1.1.132 入力 項目 名	1.1.133 入力 項目 名	1.1.134 入力 項目 名	1.1.135 入力 項目 名	1.1.136 入力 項目 名	1.1.137 入力 項目 名	1.1.138 入力 項目 名	1.1.139 入力 項目 名	1.1.140 入力 項目 名	1.1.141 入力 項目 名	1.1.142 入力 項目 名	1.1.143 入力 項目 名	1.1.144 入力 項目 名	1.1.145 入力 項目 名	1.1.146 入力 項目 名	1.1.147 入力 項目 名	1.1.148 入力 項目 名	1.1.149 入力 項目 名	1.1.150 入力 項目 名	1.1.151 入力 項目 名	1.1.152 入力 項目 名	1.1.153 入力 項目 名	1.1.154 入力 項目 名	1.1.155 入力 項目 名	1.1.156 入力 項目 名	1.1.157 入力 項目 名	1.1.158 入力 項目 名	1.1.159 入力 項目 名	1.1.160 入力 項目 名	1.1.161 入力 項目 名	1.1.162 入力 項目 名	1.1.163 入力 項目 名	1.1.164 入力 項目 名	1.1.165 入力 項目 名	1.1.166 入力 項目 名	1.1.167 入力 項目 名	1.1.168 入力 項目 名	1.1.169 入力 項目 名	1.1.170 入力 項目 名	1.1.171 入力 項目 名	1.1.172 入力 項目 名	1.1.173 入力 項目 名	1.1.174 入力 項目 名	1.1.175 入力 項目 名	1.1.176 入力 項目 名	1.1.177 入力 項目 名	1.1.178 入力 項目 名	1.1.179 入力 項目 名	1.1.180 入力 項目 名	1.1.181 入力 項目 名	1.1.182 入力 項目 名	1.1.183 入力 項目 名	1.1.184 入力 項目 名	1.1.185 入力 項目 名	1.1.186 入力 項目 名	1.1.187 入力 項目 名	1.1.188 入力 項目 名	1.1.189 入力 項目 名	1.1.190 入力 項目 名	1.1.191 入力 項目 名	1.1.192 入力 項目 名	1.1.193 入力 項目 名	1.1.194 入力 項目 名	1.1.195 入力 項目 名	1.1.196 入力 項目 名	1.1.197 入力 項目 名	1.1.198 入力 項目 名	1.1.199 入力 項目 名	1.1.200 入力 項目 名	1.1.201 入力 項目 名	1.1.202 入力 項目 名	1.1.203 入力 項目 名	1.1.204 入力 項目 名	1.1.205 入力 項目 名	1.1.206 入力 項目 名	1.1.207 入力 項目 名	1.1.208 入力 項目 名	1.1.209 入力 項目 名	1.1.210 入力 項目 名	1.1.211 入力 項目 名	1.1.212 入力 項目 名	1.1.213 入力 項目 名	1.1.214 入力 項目 名	1.1.215 入力 項目 名	1.1.216 入力 項目 名	1.1.217 入力 項目 名	1.1.218 入力 項目 名	1.1.219 入力 項目 名	1.1.220 入力 項目 名	1.1.221 入力 項目 名	1.1.222 入力 項目 名	1.1.223 入力 項目 名	1.1.224 入力 項目 名	1.1.225 入力 項目 名	1.1.226 入力 項目 名	1.1.227 入力 項目 名	1.1.228 入力 項目 名	1.1.229 入力 項目 名	1.1.230 入力 項目 名	1.1.231 入力 項目 名	1.1.232 入力 項目 名	1.1.233 入力 項目 名	1.1.234 入力 項目 名	1.1.235 入力 項目 名	1.1.236 入力 項目 名	1.1.237 入力 項目 名	1.1.238 入力 項目 名	1.1.239 入力 項目 名	1.1.240 入力 項目 名	1.1.241 入力 項目 名	1.1.242 入力 項目 名	1.1.243 入力 項目 名	1.1.244 入力 項目 名	1.1.245 入力 項目 名	1.1.246 入力 項目 名	1.1.247 入力 項目 名	1.1.248 入力 項目 名	1.1.249 入力 項目 名	1.1.250 入力 項目 名	1.1.251 入力 項目 名	1.1.252 入力 項目 名	1.1.253 入力 項目 名	1.1.254 入力 項目 名	1.1.255 入力 項目 名	1.1.256 入力 項目 名	1.1.257 入力 項目 名	1.1.258 入力 項目 名	1.1.259 入力 項目 名	1.1.260 入力 項目 名	1.1.261 入力 項目 名	1.1.262 入力 項目 名	1.1.263 入力 項目 名	1.1.264 入力 項目 名	1.1.265 入力 項目 名	1.1.266 入力 項目 名	1.1.267 入力 項目 名	1.1.268 入力 項目 名	1.1.269 入力 項目 名	1.1.270 入力 項目 名	1.1.271 入力 項目 名	1.1.272 入力 項目 名	1.1.273 入力 項目 名	1.1.274 入力 項目 名	1.1.275 入力 項目 名	1.1.276 入力 項目 名	1.1.277 入力 項目 名	1.1.278 入力 項目 名	1.1.279 入力 項目 名	1.1.280 入力 項目 名	1.1.281 入力 項目 名	1.1.282 入力 項目 名	1.1.283 入力 項目 名	1.1.284 入力 項目 名	1.1.285 入力 項目 名	1.1.286 入力 項目 名	1.1.287 入力 項目 名	1.1.288 入力 項目 名	1.1.289 入力 項目 名	1.1.290 入力 項目 名	1.1.291 入力 項目 名	1.1.292 入力 項目 名	1.1.293 入力 項目 名	1.1.294 入力 項目 名	1.1.295 入力 項目 名	1.1.296 入力 項目 名	1.1.297 入力 項目 名	1.1.298 入力 項目 名	1.1.299 入力 項目 名	1.1.300 入力 項目 名	1.1.301 入力 項目 名	1.1.302 入力 項目 名	1.1.303 入力 項目 名	1.1.304 入力 項目 名	1.1.305 入力 項目 名	1.1.306 入力 項目 名	1.1.307 入力 項目 名	1.1.308 入力 項目 名	1.1.309 入力 項目 名	1.1.310 入力 項目 名	1.1.311 入力 項目 名	1.1.312 入力 項目 名	1.1.313 入力 項目 名	1.1.314 入力 項目 名	1.1.315 入力 項目 名	1.1.316 入力 項目 名	1.1.317 入力 項目 名	1.1.318 入力 項目 名	1.1.319 入力 項目 名	1.1.320 入力 項目 名	1.1.321 入力 項目 名	1.1.322 入力 項目 名	1.1.323 入力 項目 名	1.1.324 入力 項目 名	1.1.325 入力 項目 名	1.1.326 入力 項目 名	1.1.327 入力 項目 名	1.1.328 入力 項目 名	1.1.329 入力 項目 名	1.1.330 入力 項目 名	1.1.331 入力 項目 名	1.1.332 入力 項目 名	1.1.333 入力 項目 名	1.1.334 入力 項目 名	1.1.335 入力 項目 名	1.1.336 入力 項目 名	1.1.337 入力 項目 名	1.1.338 入力 項目 名	1.1.339 入力 項目 名	1.1.340 入力 項目 名	1.1.341 入力 項目 名	1.1.342 入力 項目 名	1.1.343 入力 項目 名	1.1.344 入力 項目 名	1.1.345 入力 項目 名	1.1.346 入力 項目 名	1.1.347 入力 項目 名	1.1.348 入力 項目 名	1.1.349 入力 項目 名	1.1.350 入力 項目 名	1.1.351 入力 項目 名	1.1.352 入力 項目 名	1.1.353 入力 項目 名	1.1.354 入力 項目 名	1.1.355 入力 項目 名	1.1.356 入力 項目 名	1.1.357 入力 項目 名	1.1.358 入力 項目 名	1.1.359 入力 項目 名	1.1.360 入力 項目 名	1.1.361 入力 項目 名	1.1.362 入力 項目 名	1.1.363 入力 項目 名	1.1.364 入力 項目 名	1.1.365 入力 項目 名	1.1.366 入力 項目 名	1.1.367 入力 項目 名	1.1.368 入力 項目 名	1.1.369 入力 項目 名	1.1.370 入力 項目 名	1.1.371 入力 項目 名	1.1.372 入力 項目 名	1.1.373 入力 項目 名	1.1.374 入力 項目 名	1.1.375 入力 項目 名	1.1.376 入力 項目 名	1.1.377 入力 項目 名	1.1.378 入力 項目 名	1.1.379 入力 項目 名	1.1.380 入力 項目 名	1.1.381 入力 項目 名	1.1.382 入力 項目 名	1.1.383 入力 項目 名	1.1.384 入力 項目 名	1.1.385 入力 項目 名	1.1.386 入力 項目 名	1.1.387 入力 項目 名	1.1.388 入力 項目 名	1.1.389 入力 項目 名	1.1.390 入力 項目 名	1.1.391 入力 項目 名	1.1.392 入力 項目 名	1.1.393 入力 項目 名	1.1.394 入力 項目 名	1.1.395 入力 項目 名	1.1.396 入力 項目 名	1.1.397 入力 項目 名	1.1.398 入力 項目 名	1.1.399 入力 項目 名	1.1.400 入力 項目 名	1.1.401 入力 項目 名	1.1.402 入力 項目 名	1.1.403 入力 項目 名	1.1.404 入力 項目 名	1.1.405 入力 項目 名	1.1.406 入力 項目 名	1.1.407 入力 項目 名	1.1.408 入力 項目 名	1.1.409 入力 項目 名	1.1.410 入力 項目 名	1.1.411 入力 項目 名	1.1.412 入力 項目 名	1.1.413 入力 項目 名	1.1.414 入力 項目 名	1.1.415 入力 項目 名	1.1.416 入力 項目 名	1.1.417 入力 項目 名	1.1.418 入力 項目 名	1.1.419 入力 項目 名	1.1.420 入力 項目 名	1.1.421 入力 項目 名	1.1.422 入力 項目 名	1.1.423 入力 項目 名	1.1.424 入力 項目 名	1.1.425 入力 項目 名	1.1.426 入力 項目 名	1.1.427 入力 項目 名	1.1.428 入力 項目 名	1.1.429 入力 項目 名	1.1.430 入力 項目 名	1.1.431 入力 項目 名	1.1.432 入力 項目 名	1.1.433 入力 項目 名	1.1.434 入力 項目 名	1.1.435 入力 項目 名	1.1.436 入力 項目 名	1.1.437 入力 項目 名	1.1.438 入力 項目 名	1.1.439 入力 項目 名	1.1.440 入力 項目 名	1.1.441 入力 項目 名	1.1.442 入力 項目 名	1.1.443 入力 項目 名	1.1.444 入力 項目 名	1.1.445 入力 項目 名	1.1.446 入力 項目 名	1.1.447 入力 項目 名	1.1.448 入力 項目 名	1.1.449 入力 項目 名	1.1.450 入力 項目 名	1.1.451 入力 項目 名	1.1.452 入力 項目 名	1.1.453 入力 項目 名	1.1.454 入力 項目 名	1.1.455 入力 項目 名	1.1.456 入力 項目 名	1.1.457 入力 項目 名	1.1.458 入力 項目 名	1.1.459 入力 項目 名	1.1.460 入力 項目 名	1.1.461 入力 項目 名	1.1.462 入力 項目 名	1.1.463 入力 項目 名	1.1.464 入力 項目 名	1.1.465 入力 項目 名	1.1.466 入力 項目 名	1.1.467 入力 項目 名	1.1.468 入力 項目 名	1.1.469 入力 項目 名	1.1.470 入力 項目 名	1.1.471 入力 項目 名	1.1.472 入力 項目 名	1.1.473 入力 項目 名	1.1.474 入力 項目 名	1.1.475 入力 項目 名	1.1.476 入力 項目 名	1.1.477 入力 項目 名	1.1.478 入力 項目 名	1.1.479 入力 項目 名	1.1.480 入力 項目 名	1.1.481 入力 項目 名	1.1.482 入力 項目 名	1.1.483 入力 項目 名	1.1.484 入力 項目 名	1.1.485 入力 項目 名	1.1.486 入力 項目 名	1.1.487 入力 項目 名	1.1.488 入力 項目 名	1.1.489 入力 項目 名	1.1.490 入力 項目 名	1.1.491 入力 項目 名	1.1.492 入力 項目 名	1.1.493 入力 項目 名	1.1.494 入力 項目 名	1.1.495 入力 項目 名	1.1.496 入力 項目 名	1.1.497 入力 項目 名	1.1.498 入力 項目 名	1.1.499 入力 項目 名	1.1.500 入力 項目 名	1.1.501 入力 項目 名	1.1.502 入力 項目 名	1.1.503 入力 項目 名	1.1.504 入力 項目 名	1.1.505 入力 項目 名	1.1.506 入力 項目 名	1.1.507 入力 項目 名	1.1.508 入力 項目 名	1.1.509 入力 項目 名	1.1.510 入力 項目 名	1.1.511 入力 項目 名	1.1.512 入力 項目 名	1.1.513 入力 項目 名	1.1.514 入力 項目 名	1.1.515 入力 項目 名	1.1.516 入力 項目 名	1.1.517 入力 項目 名	1.1.518 入力 項目 名	1.1.519 入力 項目 名	1.1.520 入力 項目 名	1.1.521 入力 項目 名	1.1.522 入力 項目 名	1.1.523 入力 項目 名	1.1.524 入力 項目 名	1.1.525 入力 項目 名	1.1.526 入力 項目 名	1.1.527 入力 項目 名	1.1.528 入力 項目 名	1.1.529 入力 項目 名	1.1.530 入力 項目 名	1.1.531 入力 項目 名	1.1.532 入力 項目 名	1.1.533 入力 項目 名	1.1.534 入力 項目 名	1.1.535 入力 項目 名	1.1.536 入力 項目 名	1.1.537 入力 項目 名	1.1.538 入力 項目 名	1.1.539 入力 項目 名	1.1.540 入力 項目 名	1.1.541 入力 項目 名	1.1.542 入力 項目 名	1.1.543 入力 項目 名	1.1.544 入力 項目 名	1.1.545 入力 項目 名	1.1.546 入力 項目 名	1.1.547 入力 項目 名	1.1.548 入力 項目 名	1.1.549 入力 項目 名	1.1.550 入力 項目 名	1.1.551 入力 項目 名	1.1.552 入力 項目 名	1.1.553 入力 項目 名	1.1.554 入力 項目 名	1.1.555 入力 項目 名	1.1.556 入力 項目 名	1.1.557 入力 項目 名	1.1.558 入力 項目 名	1.1.559 入力 項目 名	1.1.560 入力 項目 名	1.1.561 入力 項目 名	1.1.562 入力 項目 名	1.1.563 入力 項目 名	1.1.564 入力 項目 名	1.1.565 入力 項目 名	1.1.566 入力 項目 名	1.1.567 入力 項目 名	1.1.568 入力 項目 名	1.1.569 入力 項目 名	1.1.570 入力 項目 名	1.1.571 入力 項目 名	1.1.572 入力 項目 名	1.1.573 入力 項目 名	1.1.574 入力 項目 名	1.1.575 入力 項目 名	1.1.576 入力 項目 名	1.1.577 入力 項目 名	1.1.578 入力 項目 名	1.1.579 入力 項目 名	1.1.580 入力 項目 名	1.1.581 入力 項目 名	1.1.582 入力 項目 名	1.1.583 入力 項目 名

図 1.4 ワンストップインタフェース仕様

## ・記載内容

No.	項目名	内容
1	情報名	データ項目の名称
2	CD	データ項目のコード化(コード辞書の利用)の有無 ○:コード化する (無記載):コード化しない
3	コード名	データ項目のコード化する場合、使用するコードの名称
4	データ型	データ項目のデータ型
5	桁数	データ項目の桁数
6	備考	データ項目の情報の意味の説明等
7	ユニット(業務)	他業務ユニット等の外部環境との入出力の区別 I:入力 ○:出力 IO:入出力

## (2)ルール

## ・全般

No.	内容
1	情報名(＝第一階層のデータ項目)と集団項目は、色付けで示す。 情報名 水色 集団項目 ベージュ色
2	情報名のインデントの数で、情報の階層構造を示す。 例) 情報名(＝第一階層のデータ項目) インデントなし 第二階層のデータ項目 インデント 1 第三階層のデータ項目 インデント 2

## (3)留意事項

- ・ワンストップインタフェース仕様では、ワンストップDFDで示した各情報に関して、各情報のデータ項目や階層構造を整理した後、各データ項目に関してデータ型や情報の入出力等を定義する。
- ・コード辞書は、標準仕様のコード辞書を用いる。標準仕様で定義されていないコードに関してはワンストップサービスとして独自にコード辞書を定義する。

## 1. 5 機能連携システムフロー

## (1)概要

機能連携システムフローは、BPMも含めた各機能およびシステム間の情報および処理の連携を示す。

## ・記載イメージ

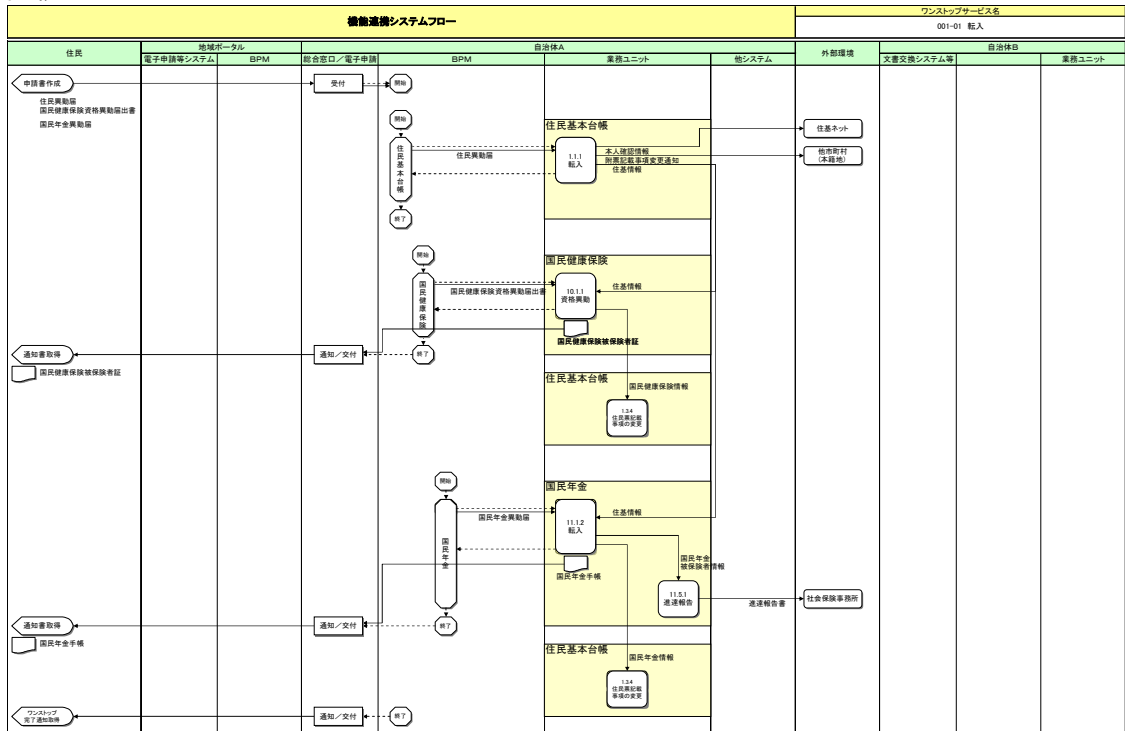
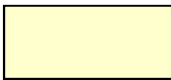






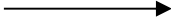
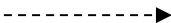


図 1.5 機能連携システムフロー

## ・記載内容

No.	表記	内容
1		業務ユニットを示す。
2		業務ユニット内部における処理を示す。
3		人間系による作業を示す。
4		申請書、通知／交付物を示す。
5		総合窓口／電子申請における業務(機能)を示す。
6		情報の滞留を示す。
7		BPM を示す。
8		情報の流れを示す。
9		処理の流れを示す。

## (2) ルール

## ・全般

No.	内容
1	スイムレーン(区画)を用いて、業務機能の実施機関(業務を行う主体)を示す。 標準仕様で定義された業務ユニットに関しては、スイムレーン「業務ユニット」

## (3) 留意事項

- ・機能連携システムフローでは、ワンストップDFDや機能関連ブロック図等をもとに、BPM を含めた各機能およびシステム間の情報および処理の連携を整理する。

## 1. 6 BPMN図

## (1)概要

BPMN図は、ビジネスプロセスを示す。

## ・記載イメージ

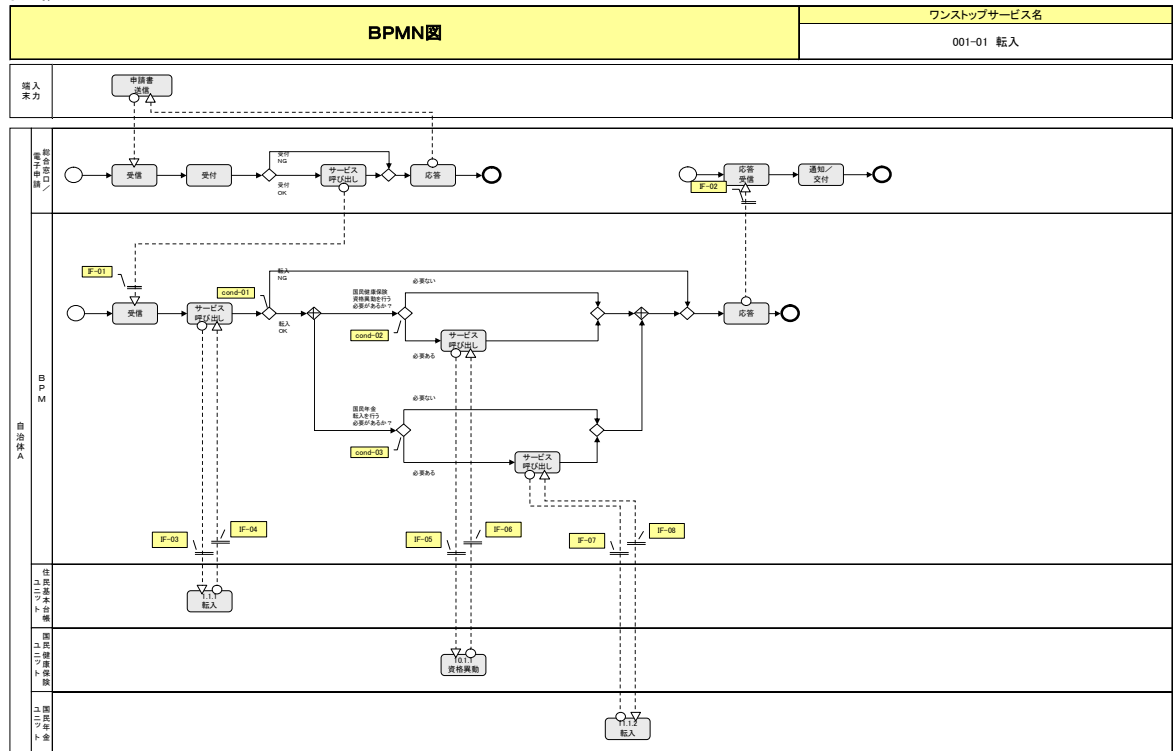
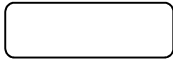





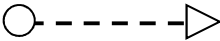
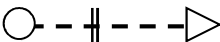


図 1.6 BPMN図

## ・記載内容

No.	表記	内容
1		各処理(アクティビティ)を示す。
2		プロセスの始点を示す。
3		プロセスの終点を示す。
4		処理が分岐する場合に、排他的判断／結合(OR)を示す。
5		処理が分岐する場合に、並列的分岐／結合(AND)を示す。
6		処理の流れを示す。
7		メッセージの流れを示す。
8		WSDL IF 記号付メッセージフロー (※地域情報プラットフォーム拡張表記)

## (2) ルール

## ・全般

No.	内容
1	BPMN(Business Process Modeling Notation)の手法で表現する。
2	Web サービスインタフェースを「WSDL IF 記号付メッセージフロー」で示す。
3	分岐には、分岐条件を併せて記載する。

## (3) 留意事項

- ・BPMN 図では、「機能関連ブロック図」および「機能連携システムフロー」をもとに、さらに詳細化を図り、Web サービスの呼び出しやフロー制御等のビジネスプロセスの実装を考慮する。
- ・BPMN 図では、Web サービスインタフェースと条件分岐を明記する。



### (1) 概要

・記載イメージ

[illegible]

図 1.7 条件分岐定義

## ・記載内容

No.	項目名	内容
1	条件分岐識別	条件分岐の識別
2	名称	条件分岐の名称
3	判定処理	条件分岐で行う判定処理のロジック
4	備考	該当の条件分岐全般に関する特記事項等

## (2) ルール

## ・全般

No.	内容
1	分岐の判定処理の内容には、判定に用いる情報と値を明記する。
2	ビジネス制御情報の値により分岐する場合には、別途、ビジネス制御情報の値の定義を行う。

## (3) 留意事項

- ・条件分岐定義では、BPMN 図で示した条件分岐に関して、分岐の判定処理等を整理する。

### (1) 概要

・記載イメージ

[illegible]

図 1.8 インタフェース一覧

## ・記載内容

No.	項目名	内容
1	インタフェース番号	Webサービスインタフェースの識別番号
2	機能	Webサービスインタフェースの機能名
3	入出力	メッセージの流れの方向 IN: 外部からBPMへの流れ      OUT: BPMから外部への流れ
4	メッセージ定義	メッセージ定義の名称
5	WSDL定義	WSDL定義の電子ファイル名

## (2) ルール

## ・全般

No.	内容
1	メッセージ定義の名称には、XML タグ名に使用可能な文字を用いない。
2	WSDL定義の電子ファイル名は、命名規則に従う。

## (3) 留意事項

- ・インタフェース仕様では、WebサービスインタフェースとWebサービスインタフェースで用いるメッセージ定義、WSDL 定義を一覧に纏めて見やすく整理する。

## 1. 9 メッセージ定義

## (1)概要

メッセージ定義は、インタフェースのメッセージの項目定義を示す。

## ・記載イメージ

メッセージ定義		ワンストップサービス名				メッセージ定義名	
		001-01 転入				IF-08 IN 国民年金-転入応答メッセージ	
No	データ項目	データ型	桁数	コード CD	コード名	出現回数 最小 最大	項目の説明
1	国民年金-転入-処理結果情報					1 1	
2	審査年月日	日付情報				1 1	
3	審査結果	N	10			1 1	
4	審査結果通知文	N	500			0 1	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							

図 1.9 メッセージ定義

## ・記載内容

No.	項目名	内容
1	データ項目	データ項目の名称
2	データ型	データ項目のデータ型
3	桁数	データ項目の桁数
4	コードーCD	データ項目のコード化(コード辞書の利用)の有無 ○:コード化する (無記載):コード化しない
5	コードーコード名	データ項目をコード化する場合、使用するコードの名称
6	出現回数ー最小	データ項目の出現回数の下限値
7	出現回数ー最大	データ項目の出現回数の上限値
8	項目の説明	データ項目の説明等

## (2)ルール

## ・全般

No.	内容
1	データ項目の名称には、XML タグ名に使用可能な文字を用いない。

## (3)留意事項

- ・メッセージ定義では、ワンストップインタフェース仕様をもとに、Webサービスインタフェースで用いるメッセージの各データ項目に関してデータ型や情報の入出力等を定義する。

## 1. 10 XMLスキーマ定義

### (1)概要

XMLスキーマ定義は、インタフェースの各メッセージとして使用されるXMLメッセージに対するXMLスキーマの定義である。

### (2)ルール

プラットフォーム通信標準仕様のXML定義仕様に従う。

### (3)留意事項

- ・地域情報プラットフォームにおける規定に関しては、「プラットフォーム通信標準仕様」の「3. プラットフォーム通信標準のメッセージ定義仕様」を参照のこと。

## 1. 1.1 WSDL定義

### (1)概要

WSDL定義は、インタフェースに対するWSDL定義である。

### (2)ルール

プラットフォーム通信標準仕様のWSDLのXML定義記述要件に従う。

### (3)留意事項

- ・地域情報プラットフォームにおける規定に関しては、「プラットフォーム通信標準仕様」の「3. プラットフォーム通信標準のメッセージ定義仕様」を参照のこと。



## 1. 1 2 WS－BPEL アブストラクト

### (1) 概要

WS－BPEL アブストラクトは、配布用のBPEL文書である。

### (2) ルール

プラットフォーム通信標準仕様の規定に従う。

### (3) 留意事項

- ・地域情報プラットフォームにおける規定に関しては、「プラットフォーム通信標準仕様」の「4. プラットフォーム通信標準のビジネスプロセス制御定義仕様」を参照のこと。
- ・自治体内の開発では、WS－BPEL アブストラクトは作成せず、BPM製品のBP定義機能で代行することも可能。

## 2. 付則

## 2. 1 データ型の簡易表記

データ型	記述形式		説明
	データ型	桁数	
半角文字列	X	n	半角文字列で、文字数 n 個以下。 例) n=10 の場合 abcd, a12bcX5de, a123!#\$FGH
全角文字列	N	n	全角文字列で、文字数 n 個以下。 例) n=10 の場合 業務分析, 地域情報プラットフォーム, ABC123, 098DE\$%あいう
整数	9	n	n 桁以下の正の整数。 例) n=2 の場合 0 から 99 までの整数
小数点付き実数	9V	n, m	整数部 n 桁、小数部 m 桁の正の実数。 例) n=2、m=3 の場合 0.000 から 99.999 までの実数 ※ 0, 0.0, 0.00, 0.000 という表記も可
符号付き整数	S9	n	n 桁以下の整数。正の値の場合は「+」を付けても付けなくても良い。負の値の場合は「-」を付ける。 例) n=2 の場合 -99 から+99 までの整数
符号付き小数点付き実数	S9V	n, m	整数部 n 桁、小数部 m 桁の実数。正の値の場合は「+」を付けても付けなくても良い。負の値の場合は「-」を付ける 例) n=2、m=3 の場合 -99.999 から+99.999 までの実数